



# PTA 便り



令和3年12月24日  
札幌市立大倉山小学校 PTA  
会長 小田桐 正吾

この時期に、まとまった雪が降るのは何年ぶりでしょうか。子どもたちは大喜びしていますが、保護者の皆さんは雪かきに追われ、お疲れの日々をお過ごしかと思います。新型コロナウイルスに大きく生活を左右された2学期でしたが、大きな事故もなく終業式を迎えられましたこと、安堵しております。

さて、先日のPTA便りでは、下校時の車での送迎をお控えいただきたく、お願い申し上げました。その後、送迎の車の台数が減少してきたように感じられました。ご協力に感謝申し上げます。

「子どもたちが事故に巻き込まれることがないように…」保護者はもちろん、教職員や地域の方々の願いは同じところにあります。私たち保護者の心がけをもって、子どもたちが安全に登下校できる環境を作っていきましょう。

## ◆◆◆スクールゾーンについて◆◆◆

学校スロープ下の道路はスクールゾーンに指定されています。スクールゾーンとは、子どもの交通安全を図るために設定された交通安全対策の重点地域で、小学校などを中心に半径約500m程度の通学路に設定されています。登下校時の時間帯に通学路を歩行者専用道路にするため、車両通行禁止となります。車両通行禁止の時間帯にスクールゾーンを通行すると違反点数と反則金の対象になります。（通行許可証を受けた車両と、緊急車両・道路維持作業車両などに限り、指定時間帯に規制区域を通行することができます。）



本校の場合、朝7時30分から8時30分が許可車両以外通行できない時間帯となっていますが、地域の方や交通安全指導員の方からも、お子さんを送りにきたと思われる保護者の車が、スクールゾーンに進入しているところ指摘が寄せられています。

怪我や体調により車での送迎が必要な場合は、規制時間帯を避け登校時間をずらすなど、学校と対応を相談してください。

その他の事情でお子さんを車で送迎される方は、スクールゾーンには進入せず、見通しがよく交通に支障が出ない場所を選び、お子さんを見送っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

## ◆◆◆学校スロープ下の道路について◆◆◆

先日の PTA 便りでも車でのお迎えを控えていただきたくお知らせしましたが、引き続きのお願いです。

車でのお迎えについては、曖昧にされてきた部分ではありますが、地域からのご指摘が相次ぎ、警察からも指導を受ける状態になってしまったことを鑑みて、PTA としても改善に向けて呼びかけをしていくことといたしました。交通ルールを見直し、交通安全についてご家庭でも話題にいただけたらと思います。

### 学校スロープ下の道路は駐車禁止エリアです

「駐車」とは、5 分以上の人待ちや荷物の積み下ろし、あるいは運転者が車から離れていて、すぐに運転できない状態で停止することをいいます。

学習発表会や個人懇談の日にも、無人の状態で止められた車がありました。お子さんのお迎えで長時間車を停めることや、車から離れて校内に滞在することはお控えください。



自分の家の車を見つけ道路に飛び出すお子さんがいること、片側だけでなくスロープ側にも車を停めて、完全に通行が妨げられてしまったことは前回の P T A 便りでもお伝えしました。

近隣のマンション建設に伴い、大型の工事車両も多く通行がある中で、雪が積もり道幅がさらに狭くなっています。雪が積もり車道と歩道の境目がなくなります。雪道では歩行者も転びやすくなりますし、ブレーキが効かずドキッとした経験がある方も多いと思います。

車でのお迎えを控え危険な状況を作らないということも、事故防止へつながる第一歩ではないでしょうか。

## ◆◆◆地域の方から◆◆◆

★手袋や帽子などの防寒具は、転倒してしまったときに頭や手を守ってくれる物でもあります。子どもは体温が高いので、暑がって着けたがらないお子さんもいるかもしれませんが、ご家庭でも是非声をかけていただきたいです。

★手袋や帽子など、落とし物を度々見かけます。名前が書いてあれば、お子さんのもとへ届く可能性も高くなります。持ち物に名前が書いてあるか再度確認してあげてください。

登下校時に交差点などで子どもたちを見守り、交通指導をして下さっています。地域の方々のご協力もあり、子どもたちは安全に学校生活を送れています。子どもたちの通学路ですが、近隣の方にとっては日常的に使用する生活道路でもあるということを心に留めていただき、気持ちよく過ごせる環境にしていけたらと思います。

★☆☆☆事故や怪我に気を付けて、楽しい冬休みをお過ごしください☆☆☆☆